

奄美海域のホンダワラで見られた増殖方法

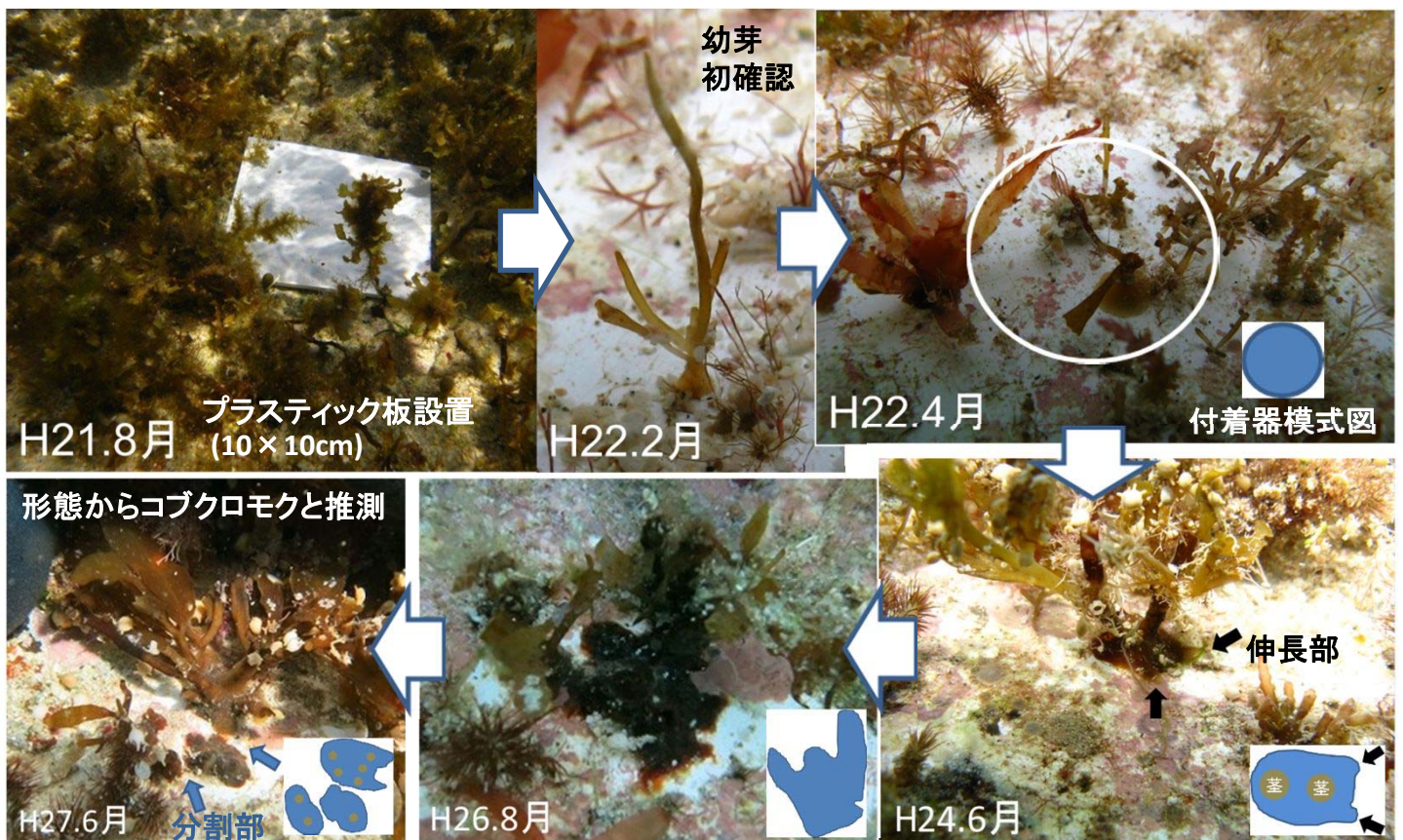
漁場環境部 研究専門員 猪狩忠光

ホンダワラ属の増殖方法として、主に以下の2つの方法がある

1 有性生殖:卵×精子

2 栄養繁殖:繊維状型付着器を伸長させて増殖→ヒジキ,イソモクなど

今回、同一個体を6年間追跡し、**これまで報告がない盤状型の付着器を拡大,変形させながら,分割して増殖する姿を確認**



奄美海域のリーフ内は、1cm前後の砂の被覆があるという環境が多い

有性生殖では 300cm^2 ($100\text{cm}^2 \times 3$ 枚)に1個体のみ新規加入を確認

砂の被覆は有性生殖による増殖は比較的不利であるが、ウニ・魚等の植食性動物からの付着器防御としては有利

付着器の拡大・分割による増殖は、このような砂の被覆がある環境下では理にかなった方法といえる